

# ふるさと応援団木島平会会報

## 新年親睦交流会が開催

1月15日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷でふるさと応援団木島平会の新年親睦交流会が行われました。5回目の開催となる今回は28人が出席し、情報交換や近況報告などをして交流を深めました。中には同級生グループや兄弟3人で参加された方もいて、会場内は新年会らしく和やかで楽しい雰囲気になりました。最後は全員で県歌「信濃の国」を熱唱、木島平の話題に尽きない有意義な時間が過ごされました。



## 市之割での思い出

副会長 中島今朝清

会員の皆様には、本会にご理解とご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ふるさとの思い出と言うことで、私は小・中学生の頃の市之割での思い出を披露したいと思います。上京以来、早半世紀近くになります。他の地区とは異なった事とかを思い出しながら述べてみたいと思います。

夏休みになると、小・中学生は朝早くに公民館に集まり父兄の指導の元、勉強会が始まる。夏休みの宿題等を朝の涼しいうちにと言うことです。市之割の小中学生は宿題を残さず終わらしたと思う。

中学生になると、男子は楽隊に入らなければならない。楽隊と言っても大太鼓、小太鼓、シンバル、横笛等である。秋祭りまでに一年生は覚えなければならぬ。ちなみに私は横笛でした。曲目は信濃の国をはじめ、村は土から・お宮・楠公の青葉茂れる桜井ので始まる曲等、約4曲をお祭りの道中、村下のお堂から上の諏訪神社までの祭りの道中・主役人の先導役で、賑やかして行くのであります。50数年も前のことで当時は全ての曲を歌えましたが、臆気ながら披露します。

村は土から「村は土から誠から、明けて花咲く十三夜、国の光だ日の丸掲げて働きぬこう働いて、増やせ御国の国の為。」

お宮「この静宮に鎮まりて、世の行く末をつくづく、常磐かきわに守ります、御霊の山のかしこしや。」

時折近隣の地区からの要請で遠征することもありました。頂いたご祝儀などを集めてお菓子等を買って、公会堂に集まり皆で苦労会をして楽しんでものです。

最後に、会員の皆様にとってまた、村民の皆様にとって本年も良い年でありますよう祈念いたします。

## 山に分け入って田舎の楽しみ

木島平村議会議長 湯本悦生

会員の皆様、こんにちは。ふるさと応援団  
木島平会の10周年おめでとうございます。

さて、私の趣味の一つに山菜採りがありますので、季節の楽しみの一部を紹介してみたいと思います。

5月中旬から6月にかけて蕨を採りに山に入ります。朝5時前に起き一人で車を走らせ山道を登って、1時間か2時間くらい採集し、家に持ち帰り、釜で茹でてから天日に干します。そうするとゼンマイのように干しあがります。これを煮物にしますと結構ノリがあつてゼンマイと一味違います。ゼンマイは一度採ると翌年まで採れませんが、蕨は次々に出てきますので、期間をかけて採ることができるのです。

6月中旬には、根曲がり竹が採れるようになります。向こうも見えないくらいいびつり生えた竹を掻き分けて、一本ずつ手で軽く折りながら、大きなリックサック一杯に採って、竹林を出る時は肩に食い込む重さに耐えながら、車まで背負い出します。

竹の子採りの一番の楽しみは、採った竹の子にサバ缶を入れ、山で煮て食べることです。標高が高いと沸騰しても100℃にならないため、竹の子がグリーンのまま煮えます。これが結構いけます。

秋にはきのこ採りに行き、山できのこ汁をします。そして運転手以外は「カンパニー」と、それぞれの汁を飲みながら楽しくやっています。都会に出ることなく地元に残って、村の良さを味わいながら今日に至っております。

会員の皆様には、それぞれの地で活躍のことと思いますが、会のご発展と会員の皆様の更なるご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。



## 第10回総会・交流会は木島平村で開催決定！

毎年6月に東京（アルカディア市ヶ谷）で行っていた総会・交流会ですが、10回目となる今年の総会・交流会は、木島平村で開催することが決定しました。日程を予めお知らせしますので今からご予定をお願いします。

【日時】 平成23年6月11日（土） 午後5時から

【場所】 ホテル・パノラマランド木島平

※今後役員会で詳細等を検討決定し、後日お知らせします。

【写真左】平成16年に木島平村で行われた交流会の様子

